

## 平成 24 年度市民提案型協働事業報告書

# 事業名：観光振興に関する事業

1 実施団体 入間市の文化遺産をいかす会

2 市担当課 入間市商工課

### 3 事業目的

黒須地域を中心に、この地域に残る文化遺産を主題としたマップを作成し、配布する。また、まち歩きやバスツアー、シンポジウム等にもそれを活用して、市内文化遺産の存在を確かめ、市内外に向けて文化遺産を観光資源としていかしていく。

### 4 役割分担

団 体：① 企画・運営・講師依頼交渉  
②文化遺産マップの作成  
③広報活動（ポスター、チラシ作成）・HPでの事業報告  
④参加型事業の募集・受付

市担当課：① 経費負担・情報および印刷配布資料の提供  
② 募集案内の市報掲載へ協力、公民館等へのポスター・チラシ配布。  
③ 観光政策面からの助言

### 5 事業の決算額（詳細は別紙「協働事業収支決算書」参照）

277,061 円（内市委託料 189,000 円）

### 6 事業の実施内容

期 日	内 容	備 考
5/11（金）	協働事業全体会議	役割分担等
5/24（金）	文化遺産マップ部会会議 *	(*会場費支払い)
6/1（金）	協働事業全体会議	各部会進捗確認報告
6/8（金）	まち歩き・バスツアーパート会会議 *	
6/13（水）	環境フェア掲示物作成 *	
6/16（土）	環境フェア前日会場設営	
6/17（日）	★第1回いるま環境フェア展示参加 黒須地域周辺の文化遺産の写真等情報の	6/27（水） 報告記事ホームページ

	掲示 【運営】7名	ジ掲載
6/23（土）	まち歩き・バスツアー部会会議 *	コース等検討
6/27（水）	シンポジウム部会会議 *	
7/3（火）	文化遺産マップ部会会議 *	
7/6（金）	協働事業全体会議	各部会進捗確認報告
7/13（金）	文化遺産マップ部会会議 *	(8/21入稿)
7/20（金）	商工課・自治文化課と調整会議	
7/31（火）	まち歩き・バスツアー部会会議 *	
8/3（金）	協働事業全体会議	
8/13（月）	商工課・自治文化課と調整会議	マップ原案提示他
9/7（金）	協働事業全体会議	各部会進捗確認報告
9/9（日）	こけーら散歩・黒須（まち歩き）チラシ 印刷・配布・HP掲載	公民館等へは担当課 より配布
9/15（土）	こけーら散歩・黒須参加募集 市報掲載	
9/24（月） ～10/3（水）	こけーら散歩・黒須参加受付対応	FAX（イルミンにて受信）・メール対応
10/5（金）	協働事業全体会議	
10/11（木）	文化遺産めぐりチラシ印刷・配布・ HP掲載	公民館等へは担当課 より配布
10/12（金）	★文化遺産マップ「入間こけーら散歩黒 須地区」完成 前日こけーら散歩準備会	仮印刷 40部 10/22 3,000部
10/13（土）	★いるま文化遺産こけーら散歩・黒須実 施 【一般参加】36名 【行政側関係者】6名 【取材】2名 【運営】10名	10/17（水） 報告記事ホームページ掲載
10/15（月）	文化遺産めぐり（バスツアー）参加募集 市報掲載	
10/22（月）	バスツアー部会会議 *	
10/24（水） ～11/2（金）	文化遺産めぐり受付対応	FAX（イルミンにて受信）・メール対応

10/26（金）	シンポジウム部会会議 *	
10/31（水）	文化遺産めぐりコース下見 再確認	
11/2（金）	協働事業全体会議	
11/9（金）	前日文化遺産めぐり準備会 *	
11/10（土）	★ボンネットバスで行く入間市の文化遺産めぐり実施 【一般参加】20名（午前）17名（午後） 【行政側関係者】4名【取材】2名 【運営】13名	11/29（木） 報告記事ホームページ掲載
11/7（水）	シンポジウムチラシ印刷・配布・ HP掲載	
11/27（火）	シンポジウム部会会議 *	
12/2（日）	★シンポジウム「文化遺産をいかしたまちづくり」 第18回生涯学習フェスティバル内企画 助言者（内田青蔵氏〔神奈川大学建築学科教授〕、荒牧澄多氏〔川越市職員、NPO法人「川越蔵の会」会員〕、田代正樹氏〔入間市経済産業部商工課長〕） 【会場】入間市産業文化センターB棟 （入間市立図書館）2階研修室 【参加者】一般 24名＋会員 16名 計 40名（内運営 6名）	実践報告（5団体） と情報交換。それぞれの立場の助言者からのコメント、アドバイス、会場との応答によりテーマを深め、観光の基盤となるまちづくりについて学ぶ。
12/7（金）	協働事業全体ふり返り会議	
2月	決算資料、報告書作成期間	
3/1（金）	報告書作成最終会議	

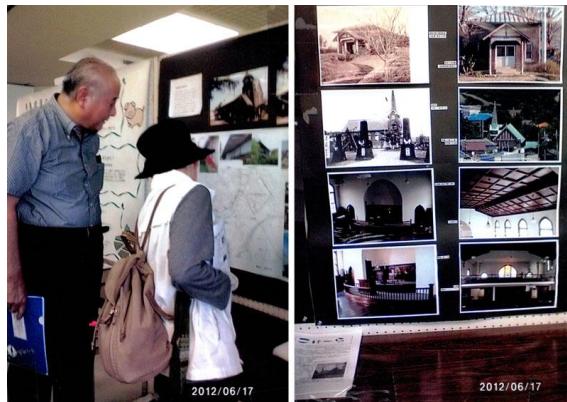
## 7 事業の実施結果

平成24年度の市民提案型協働事業は以下5事業を実施した。実施事業に関しては、入間市の文化遺産をいかす会のホームページにて事前に告知し、募集等を行なうと同様に、実施後には報告記事を掲載し、協働事業を記録化、公開している。

## ①第1回いるま環境フェア展示参加 6/17 (日)

環境をテーマとした市民団体および地元事業者が参加する市内で初のイベントに展示参加することにより、地域に残る文化遺産の存在を伝えるとともに秋に実施するの事業予告を行うことを試みた。身近に残っている文化遺産への関心度を高められた。

朝日新聞の取材記事として当会の展示が掲載されたこともあり、結果として展示の効果を高めることとなった。



2012.06.18 朝日新聞(朝刊埼玉版)に掲載された開催ニュース

## ②文化遺産マップ「入間こけーらさんぽ黒須地区」 10月完成

入間市駅からも至近の場所に比較的まとまりをもって市内でも有数の文化遺産が残る黒須地区周辺に着目して、それらの歴史や特徴、所在位置を簡潔に伝えるツールとしてマップ作成を行なう。また、この地域の飲食店や物販店などの情報も落とし込みまち歩きや散策など、ここを訪れる人々に活用しやすいよう試みた。

マップ作成作業を通じて、身近な地域とはいえ、まだまだ知らないことの多さとこの地域が入間の産業、文化にとって歴史的に関りの深いことを改めて確認でき、さらにその探求の必要性が確認できた。3000部印刷（商工課へ1000部提出）



### ③いるま文化遺産こけーら散歩・黒須 10/13 (土)

文化遺産マップでまとめた黒須地区から、文化遺産を見学するまち歩きのコースを作成する。実際に身边に残る文化遺産を目で見て、触れるまち歩きを行ない、地域の再発見を行なう。こけーら散歩を行なった地域は入間市駅北口区画整地事業の実施中の地区であることから街の変容が激しく、継続的に街の観察が必要と考えた。

参加者は比較的高齢者も多かったが、一部を除き、コースは平坦であることから、歩行上での支障は無かった。



【コースの概要】 約 4Km 3 時間 30 分コース (◎は内部まで見学)

入間市駅北口→大将陣→◎旧黒須銀行・繁田醤油長屋門→霞川治水の碑→◎蓮華院→石川洋行（旧石川組本店工場事務所）・◎楽蔵（同旧繭蔵・3階建て土蔵）※休憩→新道の家→◎旧石川組製糸西洋館→◎武藏豊岡教会→入間市駅北口着・解散

【参加者】一般参加 36 名（予定定員 30 名）・行政関係 6 名・取材 3 名・

運営スタッフ 10 名

※一般参加者申込 39 名 キャンセル 3 名（内訳）市内 33 名・市外 6 名

【取材・放映】入間ケーブルテレビ

チャンネルあい「週刊いるま」

10月31日（水）旧黒須銀行

11月 7 日（水）石川洋行

11月 14 日（水）西洋館

11月 21 日（水）武藏豊岡教会

各回の放送時間：12:00, 18:00, 21:30,

翌日 10:00



#### ④ポンネットバスで行く入間市の文化遺産めぐり 11/10（土）

入間市内に点在する文化遺産を見学し、市内各地で先人たちが築きあげてきた活力や文化を再発見する。交通手段としては、レトロなポンネットバスにより見学場所の移動を行い、少し昔の趣の体験を提供する。その情報発信効果により、入間市に存在する文化遺産や社会遺産を広くアピールでき、市内観光の一つのモデル創出を試みた。多くの参加者を得るために、同一コースを午前、午後で合わせて2回行なった。

見学場所、あるいは活動団体などのイベント等との連携により、企画の発展性は期待できる。



【コースの概要】 約 15Km 約 2 時間 30 分コース

入間市役所前集合→武蔵豊岡教会・西洋館 [黒須地区] →アミーゴ [仏子] →旧武蔵野鉄道橋梁跡 [元加治] →金子地区茶畠群→ジョンソンタウン [東町]

【参加者】一般参加 20 名（午前）・17 名（午後）・行政関係 4 名・取材 2 名・  
運営 13 名

※一般参加者内訳 市内 27 名・市外 10 名

【配布資料】当日の見学先解説、こけーらマップの他に、市から提供の文化財マップや観光ガイド、アミーゴやジョンソンタウンのリーフレットなどを提供した。こけーら散歩でも類似の資料を配布する。



【取材・放映】入間ケーブルテレビ チャンネルあい 「ドタバタフライデー」

初回放映 11月 16 日 19:00 (1週間再放送)

☆15分ミニ番組 11月 24 日（土）・25 日（日） 9:30、17:30 に放送

☆FMチャッピーにて放送

11/24（土）8:00～8:27 11/25（日）17:35～17:57

## ⑤シンポジウム「文化遺産をいかしたまちづくり」 12/2 (日)

当会は、地域まちづくり活動を推進し、観光振興として地域の指定文化財の紹介だけでなく、地元に残る文化遺産の発見・発掘・学習の場を提供してきた。

第18回生涯学習フェスティバルの場において、シンポジウムを開催し、近隣地区の数団体を招き代表者から活動実践報告と情報交換、助言者からの助言、コメントなどにより、参加型市民活動からまちづくりへつなげる方策の啓発を促進した。



【助言者】	内田青蔵氏	神奈川大学建築学科教授
	荒牧澄多氏	川越市職員で、NPO法人「川越蔵の会」会員
	田代正樹氏	入間市経済産業部商工課長
【報告者】	1 (財) 日本ナショナルトラスト 会員	浅井潤氏
	2 Webクリエイター	柳沢健司氏
	3 伝統技法研究会代表理事	大平茂男氏
	4 狹山市歴史会顧問	中内丈夫氏
	5 入間市の文化遺産をいかす会幹事	宮越喜彦
【参加者】	一般参加24名・会員16名	計40名 (内運営6名)

### 8 まとめ

文化遺産マップの作成は、黒須地区を散策する場合のガイドマップとなり、市内外の来訪者にとって有効なツールとなった。当会にとっても今後の活動に有効に活かせる。マップ作成と同様に、こけら散歩、文化遺産めぐりを通して、まだまだ地域の文化遺産に対する歴史的、文化的な知識の研鑽の必要性を実感するものであった。今年度作成の文化遺産マップもVer.1と捉え、将来的にその内容の充実を図るためにも地域の掘り起こしの活動が必要と考えられた。

文化遺産マップは、他の活動団体からまち歩き等イベントに活用したいとの要望をもらい、市(1000部)と協賛者(約900部)以外へも提供できたことは、本事業の普及的効果と言え、より有効に活用されたと考える。

主な提供先は、歌人会(60部)、埼玉建築士会入間部会(60部)、お茶っこサロン(30部)、環境講座(30部)、生涯学習フェスティバル講演会用資料(450部)など。さらに、文化遺産として掲載の建築所有者からも来訪者への配布用に増刷時の要望をもらうなど、文化遺産や地域を知り広めるツールとしての利用価値の高さも確認できた。

本事業の実施に当たり、イベント系事業3本が10月以降に毎月開催と集中したことは、募集・応募対応等で事業が期間的に重複することなどがあり、運営面で時間的に余裕がなかったことは反省点としたい。実施時期を適度に分散することによって、企画検討から実施に至るまでの流れに無理を生じないような工夫が必要と考えられた。

こけーら散歩と文化遺産めぐりは、本事業のテーマである観光の具体的な実施モデルである。募集方法など「人集め」については市報の活用効果が一番大きかった。市内的一般参加が多くなったこともその表れと考える。現段階では、入間市民も足元の文化遺産に関しては「知らないことが多い」ということがアンケートから読み取れる。日常の身近なところに文化遺産が見え難いということと捉えてもよいのかもしれません、地域のアイデンティティとしてどのように考えるのかなど市民、行政共の課題と考えたい。参加者からは、それぞれの企画に対して好評を得られた。

こけーら散歩では、募集定員を大きく超え、運営スタッフ等を含めるとまち歩きには大きな単位となってしまい、各所での見学などの時間配分等への課題が残った。特に、西洋館は一般公開日で多数の来場者の中に、さらに当事業の参加者も加わることとなり、参加者にはじっくりと見学する時間を用意できなかったことは残念であった。

一定の人数を確保できる今回のようなイベントに関して、今後は一般公開日とは別途対応で公開を要請することで対応できるように担当部局の協力も得たい。

観光資源として文化遺産を捉えていくならば、その掘り起こしを充実し、市民に限らず、市外に向けても発信できる観光の情報基盤という発想も必要であろう。シンポジウムでの狭山市歴史会の発表は、丹念に地域の歴史・文化を

掘り起こし、それを整理して記録化する取り組みをしている。この一次資料をどのように活用するのかなどは、Webクリエイターの柳沢氏の発表にヒントがあり、文化遺産を活用できるコンテンツづくりも当会の役割のひとつと捉えられるだろう。次年度に向けての課題のひとつとしたい。

シンポジウムは、会場の細長い形状の使い方や時間制約の関係、大きなイベント内の

企画として行なう場合など、運営上の課題はアンケートから読み取れた。その一方で、参加者にだけでなく助言者、報告者にも「入間の文化遺産」をどのように「いかして」いくのかという問題提起は、次へつなげる一歩となることと期待できる。当会にとっても人的交流を持て、次の活動へつながるものとなった。

最後に、文化遺産マップづくりにご賛同ご協力いただいた黒須地区の皆様、各事業にご協力いただきました皆様に謝意を申し上げると共に、今後も当会の活動をお支えいただけよう、私たちも地域に向けて情報発信しながら、頑張っていきたい。

また、不慣れな当会の対応に対し、商工課および自治文化課のご担当者には丁寧にご対応いただき、感謝するとともに、協働事業としての成果を出せたものとも考えている。

### アンケート 感想

#### ◆いるま文化遺産こけーら散歩・黒須

- ・東京からの転入者です。当会の活動を始めて伺い参考にさせていただきましたが、大変素晴らしい文化遺産のご紹介感謝します。
- ・恵まれた自然の中にこれほどの遺産が眠っていたことに感動しました。
- ・入間市内にこれほどまでに素晴らしい歴史上の建物があることを再認識しました。
- ・説明をお聞きして、入間市への郷土愛が深まりました。
- ・40年近く住んでいながら、こんな素晴らしい文化財があった事を知りました。今日は本当に有意義な一日でした。ありがとうございました。
- ・人数の多い時は、幾つかに分かれて説明して欲しい。
- ・とても楽しく、ありがとうございました。洋行さんのまゆ蔵でのティータイムお心遣いありがとうございます。礼拝堂の中、メレル先生の設計すばらしく、うれしかったです。
- ・楽しかったです。世話役の方ありがとうございました。ただひとつ、ひものウォーキングシューズなので、靴をぬぐのが大変でした。
- ・市の文化遺産を知ることが出来、住んでいる地域の事を知り、とても勉強になりました。
- ・いろいろ勉強になりました。入間を知ることができました。
- ・全体的にはよかったです、石川洋館の見学時間が短かったです。2階を見たかった。
- ・次回の企画を楽しみに待っています。今日はありがとうございました。
- ・よい運動が出来ました。大変楽しかったです。有難うございました。

- ・暑いので少々疲れましたが、日頃見られない所を見学できて良かった。道すがらの話も先頭だけで聞こえない、聞きそないが残念でした。博物館委員の解説、声が小さかったのが残念でした。
- ・大変詳しく説明していただき勉強になりました。
- ・説明が分かり易くて楽しい一時でした。また機会がありましたら参加させていただきます。
- ・入間に住んで 40 年ですが、こちら方面はほとんど来た事がなく無く、とても良かったです。また、是非参加させていただきたいと思っています。
- ・個人では見学できないところ、各地での現地での説明などとても充実していた企画でした。持ち主やご当主におはなしをきけたのはとてもすばらしいです。蔵の修復、銀行の修復など募金をつのってもいいかと思います。
- ・普段入れぬ場所の見学ができ、いろいろ話が聞けて良かったです。

#### ◆ボンネットバスで行く入間市の文化遺産めぐり

##### [午前の部]

- ・3時間で入間の歴史を広く知る事ができてとても良かったです。
- ・又、企画して下さい。有りがとうございました。
- ・とても勉強になりおもしろかったです。
- ・建物内の説明と内部が見られて良かった。
- ・きちんと説明をしていただいて、本当にわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・入間市にたくさんの遺産があったことを始めて知り、残しながら入間市を宣伝していけたらと思った。
- ・ボンネットバスとともに入間市の文化遺産が見られ、大正時代にタイムスリップしたように感じました。
- ・有意義な機会となりました。発展出来ると良いと思います。有難うございました。
- ・茶が苦しんでいるので茶業業者の話も聞いてみたかったです。

##### [午後の部]

- ・満足です。
- ・住んでいる町の歴史に興味がわきました。
- ・歴史遺産の多くが大変参考になりました。
- ・入間市内で、こんなに沢山楽しませて頂きありがとうございました。
- ・入間市に長年住んでいても、まったく市内の遺産について無知だったので、今日

はとても有意義な半日となりました。又、違ったもので企画して下さい。

- ・豊岡教会以外見学は2度目ですがいろいろ説明を聞き、とても勉強になり楽しかったです。又、機会がありましたら参加したいと思いました。
- ・ありがとうございました ボンネットバスが5台と聞きおどろきました。
- ・めずらしいボンネットバスに乗りながら、知っていた知らない入間市を巡る数時間、とてもタメになりました。
- ・気になっていた場所へおしゃれなバスに乗って説明付きで見学に行けてとても良かったです。ちなみに午前中アリットと旧黒須銀行と西武鉄道展へ行ってきたので、つながりがあり入間に感動した1日でした。
- ・文化遺産も大へんですが保存の方にも力を入れてほしい。

#### ◆シンポジウム「文化遺産をいかしたまちづくり」

- ・5名の方のそれぞれの発表ジャンルも異なり幅広く学習できました。歴史をつなげていくことは「人とのつながり」がベースになるのですかね。
- ・有意義な時間でした。今後の活動を楽しみにしています。
- ・声が聞きづらくマイクの必要性を感じました。
- ・アンケートをとるならペンを用意してほしい。
- ・助言者と報告者のみのやりとりで一般の方とのQAがなく本来のシンポジウムではないの？
- ・昨年黒須地区ツアーに参加した際、自分たちの住んでいる・勤めている・通っている地域なのに、その土地のことを知らないのはなんて残念だろう。勿体ないと強く思いました。慣れた地域に興味のない人はいないと思いました。

入間は歴史のあるところなので、もっともっと地元の人たちに知ってほしいと思いました。

私はウォーリズが好きで入間に興味を持ちましたが、地域でこんなに懸命にまちや遺産を守ろうとしている方々がいらして羨ましいです。今だけでなく、このさき20年、100年も皆さまの今の活動がいきるように願っています。

池袋から乗った特急は秩父へ向かう人たちで満席に近いほどの乗客でしたが、そのうち沢山の人たちが入間に下車するようになる日を楽しみにしています。私も外から微力ながらも入間の良さをまわりに伝えていくこうと思います。

- ・若者世代へ伝えていくこと、その伝える方法

## 9 その他

【記録：当会ホームページ記事】 平成24年度入間市市民提案型協働事業まとめ

<http://ib-ikasukai.seesaa.net/article/310677190.html>

The screenshot shows the homepage of the 'Iseki no Ikausu Kai' website. The header features a blue-tiled roof background and the title '入間市の文化遺産をいかす会'. Below the header is a navigation bar with links to HOME, お知らせ, 活動報告, 協働事業報告, 関連記事, 入間の文化遺産, 文化遺産見学記, 情報誌コナーラ, and いかす会について. A search bar is present, with '検索' (Search) and 'ウェブ' (Web) selected. A calendar for February 2013 is displayed, showing the 14th as the 14th. A main article titled '平成24年度入間市市民提案型協働事業まとめ' is shown, featuring a photograph of a traditional Japanese building with people gathered outside. Below the article is a list of recent reports and related articles. At the bottom, there's a sidebar with links to various reports and a footer with social media sharing options.

### 【添付資料】

- ◆文化遺産マップ「入間こけらさんぽ黒須地区」 A3 4ツ折り
- ◆告知用チラシ A4 3枚両面印刷
  - ・いるま文化遺産こけら散歩・黒須
  - ・ボンネットバスで行く入間市の文化遺産めぐり
  - ・シンポジウム「文化遺産をいかしたまちづくり」
- ◆シンポジウム「文化遺産をいかしたまちづくり」まとめ